

平成29年4月25日

奈良ブランド推進課

電話 0742-34-5172

平成29年度空き家・町家活用モデル事業を募集！

奈良市では、空き家・空き施設をまちづくりの資源と捉えて有効活用するため、地域活動の拠点等に利用する空き家・町家の改修費用の補助を行います。平成28年度は6件の採択があり、現在改修中で今年度順次オープン予定です。

つきましては今年度も空き家活用モデルとして先進的な事例となるような用途のものを3件募集します。

1. 補助概要

- ・補助額：1件当たり400万円（改修費用の3分の2以内）
- ・対象物件：奈良市全域の空き家・空き施設です。※地域活性化のため計画的に利用される建物であること。
- ・プレゼンテーション審査を経て、採択した物件の改修費用を補助します。

※●地 域：建物が建っている地域、奈良市全域もしくは市内の別地域。

●活性化：ヒト・モノ・カネの面でそれぞれ下記事項が認められる。

①必須条件

ヒト：地域の人が集まる、地域に人が集まる、地域の人元気になる。

②営利活動が伴う場合はモノ、カネのどちらかが該当する必要があります。

モノ：地域の農産物、製品、伝統工芸品、飲食物等が生産される、売れる。
体験できる。

カネ：地域経済が潤う、地域に住んでいる方の所得が増える。

●計画的：事業開始に向けて着実に準備しており、開始時には順調に運営できるように十分な体制を整える。そして年数を重ねるにつれ事業が広がっていく。

【想定活用事例】個人の住宅として利活用するための改修は対象となりません。

- ・地域の集会所
- ・芸術創作活動拠点

- ・町家滞在体験住宅
- ・農産物直売施設
- ・U・Iターン向け移住体験施設
- ・伝統工芸・文化体験住宅
- ・高齢者の憩いの場

2. 予算、参加（申し込み）方法・費用

- ・今回の募集に係る予算は、400万円×3件分で1,200万円です。
- ・国土交通省の住宅市街地総合整備事業（空き家対策総合支援事業）を利用しています。

募集要領に基づいて、参加申込みをしていただけます。

※参加要領及び書類等の様式は奈良ブランド推進課で配布し、市ホームページにも掲載しています。

3. 公募スケジュール

（公募期間）平成29年4月17日～平成29年6月23日まで

（プレゼン審査）平成29年7月中旬予定

（補助決定）平成29年7月下旬予定

※採択者は、次年度以降に市が行う空き家活用の取組みの中で、市の広報誌・HPへの掲載やインタビュー等にモデル事業者としてご協力いただく場合があります。

4. 奈良市内で利活用可能な空き家戸数

戸数：2,622戸

内訳：奈良市空き家等実態調査（平成27年7月8日を調査基準日とする）より
市内戸建て住宅の空き家総数2,722戸のうち、C・D評価（※）のもの

※A評価 危険度が高く解体が必要（38戸）

B評価 老朽化が著しい（62戸）

C評価 改修工事により再利用が可能（58戸）

D評価 ほぼ修繕の必要がない（2,564戸）

5. 平成28年度実績

一次募集：平成28年9月12日～10月12日

応募数8件 3件採択（うち2件辞退）

二次募集：平成28年11月21日～平成29年1月10日

応募数7件 5件採択

計6件交付決定（別紙参照）
現在改修中で、今年度順次オープン予定

6. 審査会の構成員

5名（一級建築士、大学教授、中小企業診断士、自治連合会会長、奈良市総合政策部部長）

【28年度】

一級建築士：小笠原建築研究室 小笠原 香代氏

大学教授：大阪樟蔭女子大学 学芸学部 ライフプランニング学科教授 萩原 雅也氏

中小企業診断士：一般社団法人奈良県中小企業診断士会会長 森 昭彦氏

奈良市地区自治連合会会長：梅林 聰介氏

奈良市総合政策部部長：染谷 禎章

7. 評価基準点について

評価の大項目を4つとしました。

- ①実施主体の適格性 10点
- ②事業の実現性・継続性 25点
- ③地域との連携・貢献 10点
- ④その他 5点 の配分で、審査員一人当たり50点で、合計250点

・採択、不採択の基準点について

以下の条件にいずれかが該当する提案は不採択とする。

- 1) 各提案に対して、30点以下を付けた審査員が3人以上いる場合
- 2) 審査員全員の合計点が150点以下の場合
- 3) 「②事業の実現性・継続性」において、審査員全員の合計点が125点中75点以下の場合
- 4) 「③地域との連携・貢献」において、審査員全員の合計点が50点中30点以下の場合

	実施地域	用途	完成予定日
1	七条一丁目 (個人)	<u>ライブラリーカフェ</u> 奈良の蔵書を利用した私設図書館と絵本の読み聞かせやパッチワークサークルの活動拠点等コミュニティの場。また、コミュニティの再生から、互いの見守りの場とする。	平成29年5月12日
2	丹生町 (個人)	<u>里山文化体験・交流施設</u> 丹生の里山ならではの発酵食品を作る教室の実施、和食作り体験ツアー。地域高齢者との繋がりを密にし、活性化を図る。	平成29年9月30日
3	中町 (民間企業)	<u>農家レストラン</u> 野菜ソムリエの運営する体験型レストランとコミュニティ施設。無料農業体験や地産地消野菜直売等で大和野菜の発信を提案	平成29年9月30日
4	三条大宮町 (個人)	<u>伝統文化教室・地元特産品発信カフェ</u> 地域や観光客に向けた着物着付けレンタルスペースと学生団体による大和野菜を利用したカフェ	平成29年6月30日
5	紀寺町 (個人)	<u>多目的町家</u> 奈良の文化活動や地域の活動に関わる多目的町家。地域の芸術創作活動の場所、個展・ワークショップの開催	平成29年7月31日
6	福智院町 (民間企業)	<u>食文化展示・体験・交流拠点</u> 「奈良の食文化」を発信、継承していくための展示・体験・交流拠点。食文化に関するライブラリーコーナーも併設。伝統野菜・大和牛等を使用した飲食の提供（レストラン）	平成29年4月30日

改修事例 1. ライブラリーカフェ

Before



After

